

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度（令和2年度）	科目名	AIビジネス戦略	
科目基礎情報					
開設学科	AIシステム科	コース名	—	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	開講時間		授業形態	講義
教科書/教材	資料を配布する				
担当教員情報					
担当教員		実務経験の有無・職種			
学習目的					
第3次AIブームに突入した昨今、AIの実利用への応用が拡大し産業への展開が急速に加速している。戦略的に収集したデータを解析し、AIシステム向けのデータとして有効活用を行い、既存の事業構造をAI起点・サービス起点の事業構造へ転換することが求められる。本講座では、最先端のAI活用事例からビジネスへの適用と企業戦略について考察し、AIを利用した事業戦略の立案から事業計画を作成するプロセスを学ぶ。					
到達目標					
AIの活用により解決できること、新しい価値を創出することを事例から学び理解する。 AIを利用したビジネスモデルを構築するプロセスを理解する。					
教育方法等					
授業概要	主にAI活用の事例・実例を示しながら授業を実施していく。授業内容によっては指示された内容の調査、まとめ、発表資料の作成を行い、クラス内での発表を行う。調査には各自ノートPCを使用する。調査、まとめ、発表は個人もしくはグループで実施する。				
注意点	この授業では、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	50%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	40%	授業時間内に行われる発表内容について評価する		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回） 1回（2）時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	オリエンテーション	ビジネスにおけるAIの重要性を知り、学習することの意義を理解する			
2回	AI活用事例（1）	GCPの環境に依存した状況で、機械学習のアルゴリズムの実装を行う。TensorFlowの実行環境を行う			
3回	AI活用事例（2）	GCPの環境に依存した状況で、機械学習のアルゴリズムの実装を行う。TensorFlowの実行環境を行う			
4回	AI活用事例（3）	「音声認識」をテーマに事例から学び、活用方法を理解できる			
5回	AI活用事例（4）	「音声認識」をテーマに事例から学び、活用方法を理解できる			
6回	AI活用事例（5）	「自然言語処理」をテーマに事例から学び、活用方法を理解できる			
8回	AI活用事例（6）	「自然言語処理」をテーマに事例から学び、活用方法を理解できる			
9回	AI活用事例（7）	「需要予測」をテーマに事例から学び、活用方法を理解できる			
10回	AI活用事例（8）	「需要予測」をテーマに事例から学び、活用方法を理解できる			
11回	グループワーク（1）	AIを活用したビジネスモデルについてグループで話し合い・資料作成ができる			
12回	グループワーク（2）	AIを活用したビジネスモデルについてグループで話し合い・資料作成ができる			
13回	グループワーク（3）	AIを活用したビジネスモデルについてグループで話し合い・資料作成ができる			
14回	成果発表会	AIを活用したビジネスモデルについて発表ができる			
15回	クロージング	演習結果について担当教員から学生に総評を伝え、振り返りを実施する			